

## 大分県（日田市）

- ①東屋
- ②ベンチ
- ③下駄（展示用）

### 【概要・アピールポイント】

返還された日田材で製作した”東屋”、“ベンチ”、“下駄”は大会のレガシーとして有効に活用されることになりました。

中でも、竹田公園のせせらぎ水路は、夏にはたくさんのお子さんたちでにぎわうことから、東京2020オリンピック・パラリンピックで使用した日田材を活用した東屋は、一段と暑い夏の日射しからまもってくれ、三隈川からの心地よい風を通してくれることでしょう。

### ■ 資材提供のきっかけ

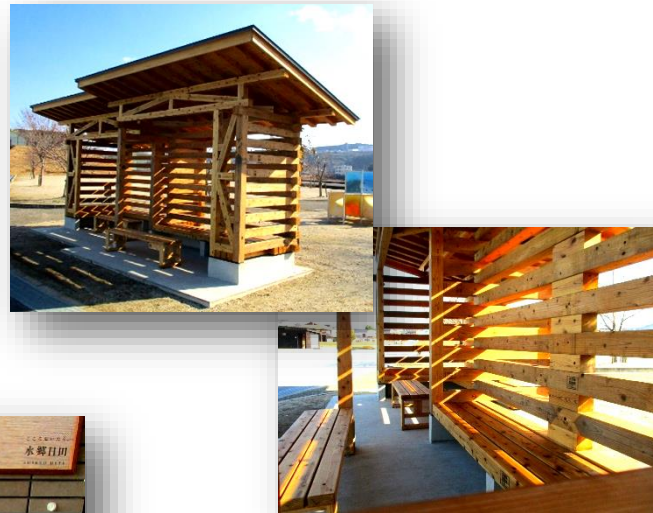
このプロジェクトへの参加を通して、国内外へ日田材のPRや林業の活性化に寄与したいと考えています。

### ■ 提供した木材の概要

- ・スギ

### ■ 用途

- ①東屋（1棟）
- ②ベンチ（8脚）
- ③下駄（展示用）（6足）



### ■ 用途決定までのプロセス

返還された日田材の活用方法については、大会のレガシー（遺産）として残すため、その活用策及びデザインについて、市内外の皆様から広く「アイデア」を広報やホームページで募集した結果、“東屋”、“ベンチ”、“下駄”への活用となりました。

### ■ 完成/使用開始時期

- ①2022年11月
- ②2022年11月
- ③2023年 3月

### ■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ①竹田公園
- ②竹田公園、複合文化施設AOSE、大原テニスコート、大原総合体育館
- ③博物館、本庁ロビー

### ■ 完成まで・完成後のエピソード

アイデアの応募には、遠くはドイツのミュンヘンや関東からの提案があり、ピアノ製作のアイデアや夏の日射しの中で日除けとなる休憩場所が欲しいという市民からの要望もありました。

限られた予算と設置場所等を考慮し、また木材産業が盛んな日田の地場産業を活かすことで、利用者に長く使ってもらえ、大会のレガシーとして残るものとなりました。

日田材提供の詳しい取組の内容を掲載したホームページは、木製看板のQRコードからアクセスできます。

### 問合せ先

農林振興部 林業振興課林業振興係

電話：0973-22-8362